

会報

かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和 2 年 2 月 1 日  
第 53 号  
発行者  
神山則幸

国語の力について二例

副支部長 森山 征夫



下の作文は、  
小学校児童  
二十五名の作  
文のひとつで  
す。明治三十

五(一九〇二)年生まれで、私の父  
親と同じ時代の人達のもので  
す。高学年になってからの作品と思わ  
れます。漢字交じりの文章で、当  
時の国語の力の高さを感ずります。

これと対比的なことが、都内中  
学校での平成前半で生徒指導に苦  
勞されて取り組んだ事例です。

まず、生徒の聞く力に疑問を感じ、  
教科書に出てくる基本的な言葉の  
理解度を調査されました。その結  
果は、とても授業を理解すること  
は難しいと判断される状況でした。  
その対策として、毎朝、新聞の  
コラムを書き写す事に取り組み  
ました。その結果、生徒達の聞く

秋の雨  
一雨毎に校門のわきの楓樹は紅の色を増す。  
花壇は昔の菊の美しい菊を飾られてある。  
心行くのどかな春雨や暑さを忘る涼しい  
夕立とはちがって何となくも淋しいおのづか  
り心も打ち沈んでどいりた秋の哀れを感ず  
る。  
あたりは寝静まりてひっそりした特設車  
もきれぐに細くなり行く虫の音を聞く時な  
どはたへられぬ心地がす。  
加藤由郎

明治尋常小学生の作文

ひとり想う

藤・戸田班 茅野 憲一

退職後、少  
しずつ自分を  
見つめる時間  
が取れるよう  
になった。私  
は、趣味の一つとして絵を描いて  
いる。白いキャンバスを前にして、  
目を閉じて詩を創って描くことが

ある。イメージを膨らませる手立  
てである。新たな自分探しの一歩  
でもある。『日本語(文字を含む)  
は単なる『符牒』ではなく、『感性』  
である。日本語は合理的思考を支  
える感性の安定を、より重視する、  
感性の安定体系だ。』(月刊黙 2001・  
八月号 p101 抜粋) この言葉に、大

読む、力がついてきて、学校生活  
も落ち着いていったそうです。  
国語の力は、学力の大本でもあ  
りますが、創造する力の土台でも  
あり、コミュニケーションにもな  
くはならないものです。調べる力  
と、考える力の立ち位置は違々と  
考えているのですが。  
さて、今はどうなのか。

いに刺激を受けた。七十歳からの  
絵の創作の挑戦である。少して  
も、自分が納得する絵をと、ひと  
り想うこの頃である。  
電車の吊革を握りながら、日頃  
の授業に対して、常に意識してい  
ることを思い浮かべる。それは、  
学年目標で「わかる・できる・楽  
しい授業」のことである。特に、  
わかりやすい声の質と大きさ、見  
やすい板書を心掛けていた。先日  
も、「主体的・対話的で深い学び」  
の実現に向けたアクティブ・ラー  
ニングの視点で授業を行った。始  
めは、戸惑いのあった学生たちも  
回を重ねることに、表情が変わっ  
ていくのを実感した。学生との真  
剣勝負であった。高い授業料を払  
った学生に申し訳ない気持ちであ  
る。退屈で、わからない授業では  
教師失格と想っている。一瞬、学  
生の瞳が眩しく輝く時がある。努  
力が報われた瞬間である。教える  
にも気迫、教わるにも気迫である。  
これからは、益々、教師の質と指  
導力が、厳しく問われるであろう。  
新たな授業の工夫、改善が、より  
重要となる。若き頃の熱意を再び  
掘り起こしながら、ひとり想いつ  
つ、今日も門をくぐる。

# 会員短 信

## 会報「かけはし」

藤・戸田班 鷲谷 三義

会報かけはしの会員短信が大好きです。各会員の最新情報を得ることができ、とても勉強になります。特にお世話になった先輩や知り合いの会員の短信は「あいつ、今、何してる。」と興味津々です。「そうか、いいね。そう言う生き方もあるね。」と勇気づけられたり大いに参考にしたりしています。では、自分は何をしていますか？東京ドーム通いのジャイアンツ熱烈応援、冬のスノーボード三昧、月一程度の東京地裁の裁判傍聴。えっ、「参考にならん。」

## PTAの危機

草加班 寺島 高志

「スマホで検索すれば、どこにでも行ける時代に、駅から学校までの案内が必要でしょうか。協力したいと想っています、そのようなことが負担で役員になれない保護者がいるんです。」

研究発表の日に案内の依頼を受けた本部役員からの相談である。市P連事務局を担当して七年目。

役員が決まらないだけでなく、PTAは任意団体だから入りません。という保護者の存在。でも、学校のためにがんばっているPTAを大切にしてほしい。

## 新人さん いらっしやーい

川口班 日根野 真

再任用として三年間で計六校、十五名の初任者と出会ってきた。厳しい採用試験をくぐり抜けてきたとはいえ授業はまだ未熟である。ついつい学級に介入したくなるが、グツと堪えている。初任者といえども一つのクラスを任されている。その担任が何とかすべきことを、週一回来るおじさんが口を出してはなるまい。相談には乗るが、解決は自力でできるようになってほしい。

初任者への通信にこう書いた。「出合いは偶然。結果は必然。」

## 史跡巡りの帰り道

草加班 細川 昭二

古河の史跡巡りの帰り道、三県境に寄りました。埼玉県加須市、栃木県栃木市、群馬県板倉町が接している所です。近年話題になっています。普通県境と言うと地図上では示されていますが、山中などにあつて目に触れることが少な

いと思います。一地点で三県巡ることができて何か得したような感じになりました。普段は地域の文化財巡りを楽しんでいきます。散策して新たな発見もあり、先人の知恵と工夫が伝わってきます。健康のためこれからも続けていきます。

## 為せば成る

川口班 林 俊幸

退職後、県の子ども会事務局にお世話になって四年目を迎えました。その関わりで法人役員の登記の申請手続きを担うことになり、ネット申請に挑戦しました。申請用ソフトのダウンロードからID登録、登記事項の入力など試行錯誤しながらの申請でしたが、「為せば成る」と言われるように、苦勞しながらも登記を無事に終えることができました。新しいものへの挑戦の気持ちを持ち続けたと思う昨今です。

## 「お話」のおばさん

藤・戸田班 太田 有子

退職以来、子どもや大人に絵本を読んだり紙芝居や語りをしたりするグループに入っています。人の話を集中して聞く力や話の内容を理解する力は子どもの

## 二十一世紀を心豊かに 生きる力をはぐくむ 朝霞の教育

朝霞市教育委員会教育長

三好 節



「学校・家庭・地域・行政が連携協

力して、子どもたちに生きる力をはぐくみます」「二人一人が心豊かにともに学び 生きるまちを目指します」という基本方針を踏まえ、令和元年度の事業に取り組んでおります。その一部を紹介します。

### 【朝霞の次代を担う人材の育成】

においては、子ども議会で提案のあった「いじめ撲滅宣言」作成のための全校児童生徒十五校の代表者による会議を開催致しました。

### 【確かな学力と自立する力の育成】

に関しては、小学校低学年補助教員・あさかスクールサポーター・理科支援員等の活用、さらには「ぼぼたん」と彩夏ちゃんのサマースクール」といった夏季休業中の学習教室を公民館等の地域で開設し、その充実を図りました。

### 【質の高い教育を支える教育環境の整備充実】

においては、「あさか教師塾」の実施により教職員の資質能力の向上を図っております。

成長過程で大切な力だと考えています。しかし、今の子どもたちは時間にゆとりがなかったりゲームに興味に向いたり、なかなかお話を聞きに集まらないのが現実です。まだまだ未熟ですが「お話して楽しいな。」と興味を持ってもらえるように練習に励んでいます。

**考えることは学びごと**

朝霞班 野本 清

退職後、拠点校指導教員となり三年目となる。新学習指導要領への移行に伴い、道徳の教科化、教科としての外国語やプログラミング教育などが始まる。今までの自分の経験知だけでは、指導できないことも多くなっている。改めて学び直しをすると共に、新しい教育についても学んでいかなければならない。正に、「教えることは学ぶこと」だと実感させられている毎日である。勿論、それが、惚けの防止に役立つているはずなのだが……

**古希に想う**

川口班 鹿志村 恭士

還暦を迎え最後の卒業式を間近に控えた二月まで入院した。筋力の異常な低下に歩行もままならない状態で三月を乗り切った事を古

希を迎えた今想い出している。

退職後は、三年間の市教委勤務をしながらリハビリに努め、近くの芝川沿いのウォーキングや手引きゴルフを日課にした。今では18ホール回れるまでに回復した。今夏二人の息子家族に囲まれ五泊六日の古希祝いがあり至福の時を過ごせた。五人の孫の成長を見届けたく喜寿を指すと誓った。

**未だ現役**

朝霞班 小林 正高

三月三十一日、現役を終了した翌日から、第二の現役をスタートさせました。あれから十年。ステージこそ違えど私学という未知の領域に首を突っ込んでみました。これが想像以上に奥が深い。社会のグローバル化とともにグレードアップする教育。「グローバル人材とは」を問いつつ、社会変化と中高生を交互に見極めながら今は新しい人材の育成に努力している日々です。ガリ版での教育からパソコンでの教育へと質的变化はあるものの、本質的には『教師と生徒』の関係性が基本です。

**言葉に支えられて**

川口班 小林 憲一

三年前の新聞記事——ブラジ

ル・リオのスラム街出身のイザベラは、NGO団体の音楽活動を目にした。

「バイオリンと出会い、将来を思い描くことができた。イザベラは母の後押しもあり、奨学金で音大に進んだ。

「道はもう決めている。音楽教師の資格を取り、地元の子どもたちに音楽を教えること」。

「貧しくても、夢を抱くことの大切さを教えた。それは、人が真つすぐに生きる原動力だから」。私は下山中の身。夢は過ぎた。

**学校と地域を結ぶ**

川口班 村田 文男

さいたま市の小学校に勤務して五年。児童や保護者の安心・安全や学校教育の更なる充実を図るため、学校と地域を結ぶコーディネートとして仕事をしています。

地域の関係諸団体の代表の方や主任児童委員の方々などと関わる機会も多く、多少神経を使うこともありますが、教育関係者以外の方々との交流は、教育を今ままでとは、違った側面から捉える考え方をすることもでき、今さらながら勉強になることも多く、人生の先輩方の中で、未だ若さを感じています。

又、快適な教育環境の整備充実に当たっては、よりよい環境での教育を行うため修繕、改修の計画的な実施に加え、平成三十年から五年間で市内小中学校全ての体育館にエアコンを設置します。

【学校・家庭・地域が連携した教育の推進】に当たっては、「朝霞市ふれあい推進事業」が定着し、各中学校区において、PTAや地域が主体となり、奉仕活動・体験活動等を実施し、地域で子供を育てる意識を醸成し、心豊かな青少年を育成しております。

【生涯学習とスポーツの振興】においては、全小学校の博物館の活用、市立図書館からの本の貸出、公民館祭への小中学生の出品、又、様々なスポーツ活動にも積極的に児童生徒が参加をしております。さらに、十月に6番目の児童館が開館しました。地上四階地下一階で、図書室・学習スペース・ポルタリング・ダンスや音楽活動のためのスペース等、乳幼児から小中高生までが利用できる施設です。今後も学校・家庭・地域・行政が一体となり教育に取り組み、郷土に対する愛着や誇りをもてる子供の育成を目指してまいります。

# 支部だより

## 教育推進協議会

### ―盛会裡に終わる

令和一年度現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会は十一月二十日(水)川口市立並木公民館に於いて、現職小・中学校長三十九名、退職校長五十六名、来賓五名、保護者五名の参加を得て開催された。開催に当たり、川口市の市長奥ノ木信夫様から、本教育推進協議会に対し、励ましの言葉と期待を寄せているとのメッセージを頂いた。また、南部教育事務所長 宮尾孝様から本年度の県教育局の方針や現下の教育情勢とその対策等にも触れたご挨拶を頂いた。更に、退職校長会顧問栗原喜一郎様からもご挨拶を頂いた。



宮尾孝様から本年度の方針や現下の教育情勢とその対策等にも触れたご挨拶を頂いた。

推進協議会は、現職校長会を代



表して草加市立栄小学校今泉正之校長、蕨市立東中学校佐藤恵子校長、退職校長会代表朝霞班小暮眞一郎元校長より、現下の



教育の諸課題について、実践に基づく貴重な発表があり、その後、県退職校長会幹事野本キミ子様から丁寧な指導講評を頂いた。

協議会終了後の懇親会では本会顧問山屋敬典様、秋山亜輝男様からご挨拶を頂いた。乾杯後の親密な懇談を通して、現職・退職校長の親睦が一層深まった。

なお、発表内容は「埼玉県退職校長会会報百六十八号」に掲載される。是非、ご一読下されたい。

(和田悦男)

## ご冥福をお祈りいたします

(1/5 現在)

- 山本 武男様(蕨市) 10/13 九十歳
- 戸部 恵一様(朝霞) 11/1 六十九歳
- 山田 治様(川口) 12/15 八十四歳

# 班だより

## ◆朝霞班

本年度は、新入会員一名を迎え百九名の会員でスタートしました。主な事業を紹介します。

### ◎総会・懇親会



朝霞班総会は、五月十一日三十名の出席を得て開催されました。総会終了後は、参加者二十八名で和やかに親睦を深めました。

### ◎BBQを楽しむ会

十月二日六名の参加で実施しました。スパーにて食材と飲み物を購入し、民間の施設へ。和気あいあいと過ごしました。

### ◎『SWAN』

会員が自由に寄稿できる文集として、十一月一日(彩の国教育の日)に『SWAN』第十五号(寄稿者九名)を刊行しました。

### ◎健康ハイキング

十一月十九日十一名で文京区本郷界隈を散策しました。昔懐かし

い家並み、文人たちも居住したという地域、ゆかりの史跡等ゆつくり巡り楽しみました。

### ◎その他

本年は、退職校長会から朝霞班小暮眞一郎先生に素晴らしい発表をしていただきました。

令和二年一月二十三日には、新年もみんな元気にと、新年親睦懇親会を予定しています。以上のような活動を通して交流を深めています。(志摩範夫)



## あとがき

北足立南部支部会報「かけはし」第五十三号をお届けします。ご多用の中、玉稿を賜りました各位に、衷心から御礼を申し上げます。

公立学校教員の働き方改革の柱、変形労働時間制の導入を可能とする改正「教職員給与特別措置法給特法」が昨年十二月四日、参議院で可決、成立しました。

大山鳴動して鼠一匹でなく、本質的な改革を切に願うばかり。

「子」年の一年、お健やかにごすごしてください。(羽富正晃)